



第10回 朝倉市成人式



●新成人431人を祝う

1月10日、ピーポット甘木で第10回朝倉市成人式が行われ、431人が出席し、大人の仲間入りを果たしました。

式典は、馬田和太鼓「鼓響」の力強い演奏で幕を開けました。式は末石菜央さん（杷木出身）の司会で進行し、式辞では森田市長が「人口減少や高齢化社会が進み、地方創生が唱えられる中、『魅力あふれるまち』を創造すべく、これからの朝倉市、そしてこの日本の未来を担う皆さんには、自分の目標に向かって邁進し、今日の新成人としての誓いを忘れず、情熱をもって自身のその力を大いに発揮されることを期待しています。」と新成人を激励しました。

井上歩美さん（南陵中出身）が新成人誓いのことばを述べた後、遠藤由紀乃さん（甘木中出身）が森田市長から記念品を受け取りました。

アトラクションDVD「二十歳の原点」では、スクリーンに小・中学生時代の写真や恩師からのインタビュー映像が映し出され、会場は大きな歓声と拍手に包まれました。

【新成人代表誓いのことば】

本日は私たち新成人のために、このように盛大な式を催していただき誠にありがとうございます。森田市長をはじめ、ご来賓の皆様から温かいご祝辞をいただき、あらためて成人することができた喜びを感じるとともに、果たすべき責任の重さを痛感しております。

私が朝倉を離れて感じたのは、帰省の度に「帰って来た」と思える故郷があることが、いかに恵まれたことであるのかということ。朝倉という歴史・自然溢れる地域の中で、温かい人々に見守られながら成長できたことを誇りに思うようになりました。この地で成人を迎えられたことを心から嬉しく思っております。

さて、昨年日本は戦後七十年という大きな節目の年を迎えました。高齢化が進む中、経験の語り伝えを、どの様に行うかという課題が浮き彫りになりつつあります。そんな中、目を引いたのは若い世代の活躍です。進んで相手の経験を聞き、新たな考えを取り入れながら社会に反映していくことが、私たちに求められるのではないのでしょうか。科学技術の発達で瞬時に多くの情報を得ることができるようになり、大変便利になりました。しかし、その反面、直接話を聞き、じっくりと考える機会が減りつつあると感じます。素早く判断する力だけでなく、突き詰めて考えることのできる力を身に着けた大人へと成長していきたいです。

最後になりましたが、私たちは本当に多くの方々に支えられて、今日この日を迎えることができました。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。これからもまだまだ未熟な私たちがたくましく成長できるよう、ご指導とご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。

私たちは、勉学に励む者もいれば、既に仕事に就いている者もおります。進む道はそれぞれ違いますが、だからこそ集まればお互いに得た経験や力、考え方を認め合い、交流することで、多くの力を生むことができると思はれます。めまぐるしく変化し続ける社会の中で、自分の進む道に誇りを持ち、これから多くの経験を積みながら常に考え続け、力強く成長していくことをここに決意し、新成人誓いのことばとさせていただきます。

新成人代表 井上歩美